

急性心不全患者さんの 診療情報等を研究に利用することについて のお知らせ

九州医療センターでは、九州医療センター倫理審査委員会 の審査を受け、病院長承認のもと、下記の臨床研究に協力をしております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

当該研究に診療情報等が用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の[相談窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

| | |
|------------------|---|
| 研究課題名 | 急性心不全患者における栄養障害と短期予後の検討 |
| 研究実施機関の 研究責任者 | 東京医療保健大学大学院看護学研究科高度実践看護コース (九州医療センター 看護部) 吉木遼平 |
| 研究の背景 | 急性心不全は増悪と寛解を繰り返し、予後の悪い病態とされています。その予後不良因子の1つには栄養障害があり、合併することにより更に予後が悪くなることが明らかとなっています。よって、入院早期から管理栄養士を中心とした栄養介入を受けていただく必要があります。 栄養状態を評価するツールの1つとして Controlling nutritional status (以下、CONUTscore) と呼ばれているものがあり、入院時に行う採血データを使用し、栄養状態を4群(正常、軽度栄養障害、中等度栄養障害、高度栄養障害)に分類されます。評価項目に体重が含まれておらず、心不全ではうっ血による体重の増減が著明ですが、CONUTscore は評価項目に体重が含まれていないため、有用であると言われています。 今回の研究では、CONUTscore により層別化された栄養不良状態と、臨床転帰(入院中の死亡率、自宅退院又は転院までに要した在院日数期間)の相関を明らかにすることで入院早期より包括的な栄養管理介入の一助となる可能性があります。 |
| 研究目的 | CONUTscore を用いて急性心不全入院患者の栄養状態を層別化し、各栄養不良群における入院中の死亡率、自宅退院又は転院までに要した在院日数期間との相関を後方視的に明らかにすることを目的とします。 |
| 研究実施期間 | 【調査対象期間】2019年4月1日から2022年3月31日まで 【研究期間】倫理審査委員会承認後から2025年3月15日 |
| 研究の方法 | 【対象となる方】 2019年4月1日から2022年3月31日までの期間に、急性心不全の診断を受け入院加療となられた方 【調査方法】 診療録、診療報酬情報、DPC データから情報を収集します。 収集した診療情報を東京医療保健大学(学長 亀山周二)へ送付し、解析を行います。 |

| | | | | | | | |
|----------------------------------|---|----------------------------------|--|--------------------|--|----------------------|--|
| | <p>【研究に利用する診療情報】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>年齢 <input checked="" type="checkbox"/>性別 <input checked="" type="checkbox"/>身長 <input checked="" type="checkbox"/>体重 <input type="checkbox"/>写真【部位： 】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>病歴 <input checked="" type="checkbox"/>既往歴 <input checked="" type="checkbox"/>治療歴</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>予後【入院中の死亡、退院、転院、在院日数期間】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>臨床検査データ【総コレステロール、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪、アルブミン、ナトリウム、クレアチニン、脳性ナトリウム利尿ペプチド、C-反応性蛋白、推定糸球体濾過量、総リンパ球、アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、アラニンアミノトランスフェラーゼ、ガンマグルタミルトランスペプターゼ】</p> <p><input type="checkbox"/>画像データ【 】</p> <p><input type="checkbox"/>アンケート【 】</p> <p><input type="checkbox"/>有害事象【副作用・合併症の発生等】</p> <p><input type="checkbox"/>その他【 】</p> <p>【情報等の管理】</p> <p>東京医療保健大学大学院看護学研究科高度実践看護コース 吉木遼平</p> | | | | | | |
| <p>個人情報の取扱い</p> | <p>情報等には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。研究成果は学会で発表されますが、個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。</p> | | | | | | |
| <p>研究組織</p> | <p>この研究は多機関共同研究で行われます。</p> <table border="1" data-bbox="416 1055 1433 1361"> <tr> <td data-bbox="416 1055 687 1160"> <p>研究代表施設 (研究代表者)</p> </td> <td data-bbox="687 1055 1433 1160"> <p>東京医療保健大学大学院 看護学研究科高度実践看護コース (九州医療センター 看護部) 吉木遼平</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1160 687 1256"> <p>相談窓口</p> </td> <td data-bbox="687 1160 1433 1256"> <p>九州医療センター 3階東病棟 (職名：師長) 岸川真裕子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1256 687 1361"> <p>共同研究機関</p> </td> <td data-bbox="687 1256 1433 1361"> <p>施設名 / 研究責任者の職名・氏名 国立病院機構九州医療センター 3階東病棟 師長 岸川真裕子</p> </td> </tr> </table> | <p>研究代表施設 (研究代表者)</p> | <p>東京医療保健大学大学院 看護学研究科高度実践看護コース (九州医療センター 看護部) 吉木遼平</p> | <p>相談窓口</p> | <p>九州医療センター 3階東病棟 (職名：師長) 岸川真裕子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p> | <p>共同研究機関</p> | <p>施設名 / 研究責任者の職名・氏名 国立病院機構九州医療センター 3階東病棟 師長 岸川真裕子</p> |
| <p>研究代表施設 (研究代表者)</p> | <p>東京医療保健大学大学院 看護学研究科高度実践看護コース (九州医療センター 看護部) 吉木遼平</p> | | | | | | |
| <p>相談窓口</p> | <p>九州医療センター 3階東病棟 (職名：師長) 岸川真裕子 〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1 電話番号 092-852-0700</p> | | | | | | |
| <p>共同研究機関</p> | <p>施設名 / 研究責任者の職名・氏名 国立病院機構九州医療センター 3階東病棟 師長 岸川真裕子</p> | | | | | | |